



《教育目標》
みらいにはばたく さくらの子
おもいあい まなびあい きたえあい

体験から学ぶ

校 長

1月末に中学年と高学年のスキー教室を行いました。過去2年間は少雪と新型コロナウイルス感染症のため実施できませんでした。そのため、今回が開校以来初めてのスキー教室となりました。新型コロナウイルス感染症を考慮し、半日日程で行いました。子どもたちからは「楽しかった!」というたくさんの声を聞くことができ、本当に良かったです。これも、保護者、地域のボランティアの皆様のご支援、ご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。



また、低学年は、学校でそり遊びを楽しみました。こちら、子どもたちの楽しそうな声がたくさん聞かれました。

私は、特に中学年のスキー教室が心配でした。4年生は、1年生の時に経験しただけ、3年生は学校でのスキー教室未経験のため、事前調査では、多くが初心者です。スキーに慣れるまで相当な時間が必要であり、中には、嫌気がさしてやめてしまう子どもがいるのでは、と考えていたからです。

しかし、それは杞憂でした。子どもたちは、粘り強くスキーの練習に励みました。初心者ですから、斜面をスキーで、または、スキーを持って何度も坂を上ります。とても疲れます。でも、何度も上っては滑る、を繰り返していました。だんだん転ばずに滑れるようになり、すぐに坂を上り始める子どももたくさん見られました。当然、笑顔も増えてきました。同様の姿が高学年でも見られました。

大自然の中で、普段経験することのない体験を全身で楽しむ子どもたちを見て、本当に嬉しく、また、たくましく思いました。

体験から学ぶことは本当に大切です。普段教室では、視覚、聴覚を使って学ぶことがほとんどです。しかし、スキーのような屋外での体験では、それに加え、触覚、嗅覚が加わります。五感を刺激することは、脳を活性化し、気持ちをリフレッシュできます。だから、笑顔もやる気も高まるのでしょう。

帰りのバスで眠っている子どももいた、と聞きました。充実した時間を過ごした証拠です。また、スキー教室から数日後、ある男の子が「校長先生、スキーを教えてくださいありがとうございます。」とお礼に来てくれました。感動しました。体験は感性も磨いてくれるのだと感じました。

素晴らしい体験ができたスキー教室を支えてくださった保護者、地域のボランティアの皆様重ねて感謝申し上げます。また、ご家庭でのスキー等の準備をしてくださった保護者の皆様に感謝申し上げます。